

こども若者県政モニター 令和7年度 第2回アンケート結果



岐阜県広報課管理広聴係



令和7年度 こども若者県政モニター 第2回アンケート調査結果

調査実施の概要

1. アンケート期間 令和7年7月8日(火曜日)から7月27日(日曜日)まで

2. モニター数 400人

3. 回答者数・回答率 回答者数:307名 回答率:76.8%
 構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
 そのため、合計が100%にならない場合があります。

4. 回答者属性

(1)性別

	人数	割合
男性	115	37.5%
女性	185	60.3%
回答しない	7	2.3%
計	307	100.0%

(2)学年別

	人数	割合
小学1年生	22	7.2%
小学2年生	22	7.2%
小学3年生	28	9.1%
小学4年生	28	9.1%
小学5年生	28	9.1%
小学6年生	27	8.8%
中学1年生	28	9.1%
中学2年生	30	9.8%
中学3年生	20	6.5%
高校1年生	20	6.5%
高校2年生	26	8.5%
高校3年生	28	9.1%
計	307	100.0%

(3)年齢別

	人数	割合
6歳	13	4.2%
7歳	26	8.5%
8歳	25	8.1%
9歳	28	9.1%
10歳	30	9.8%
11歳	25	8.1%
12歳	27	8.8%
13歳	30	9.8%
14歳	22	7.2%
15歳	22	7.2%
16歳	24	7.8%
17歳	29	9.4%
18歳	6	2.0%
計	307	100.0%

(3)居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	141	45.9%
西濃圏域	56	18.2%
中濃圏域	59	19.2%
東濃圏域	34	11.1%
飛騨圏域	17	5.5%
計	307	100.0%

農業に関するアンケート

農政課

1. アンケート調査の目的

小学生や中学生等に対し、アンケートを通じて、農業の魅力(楽しい農業)や食料自給率等に関して理解を深め、しっかりと考えていただくとともに、得られた意見を子どもたちの農業への参画(アグリパーク)や、国産・県産の農畜水産物の消費拡大につながる施策の立案等に活用するため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 岐阜県民といえば、みんな大好きバーベキュー！！(一説によると日本で一番バーベキューコンロが売れているのは岐阜県ともいわれています！)

あたたかな日差し、川のせせらぎ・・・あなたが選ぶバーベキューの食材ベスト3を教えてください。

(自由記述) 回答者 307 人

	1位	2位	3位
肉類(牛肉、豚肉、飛騨牛など)	220	117	92
野菜	48	145	132
魚介類	24	33	39
その他	13	8	38
無回答	2	4	6
計	307	307	307

「その他」のうち主なもの

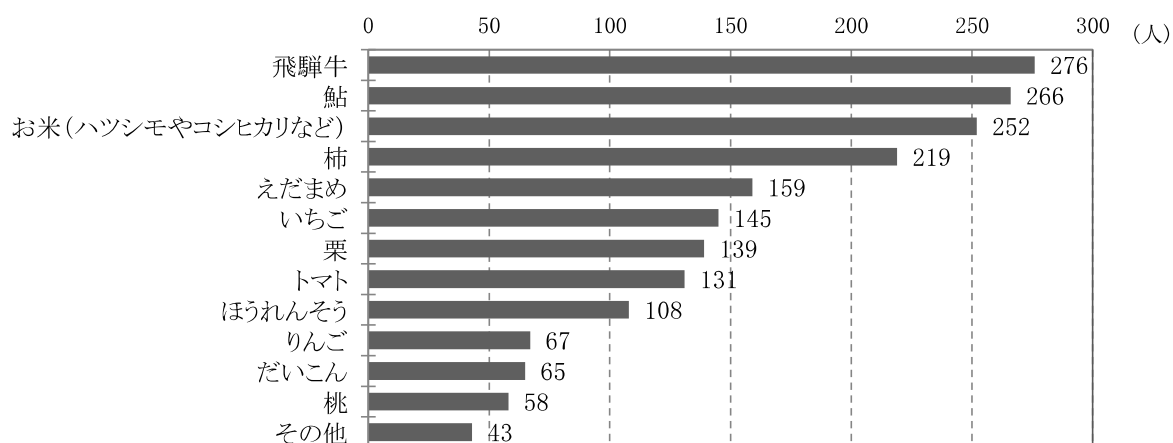
- ・ その他では、マシュマロや、やきそば、焼きおにぎりなどのご意見がありました。

～結果の概要～

- ・ 肉類では、飛騨牛やボノポーク、結旨豚、恵那鶏といったブランド名や、鶏ちゃんや名宝ハムといった岐阜県ならではの食材名も多く上がってきました。
- ・ 野菜では、とうもろこし、タマネギ、ピーマンが人気でした。「地元の」や「朝採れの」、「直売所で買った」といった具体的なイメージも書いていただきました。
- ・ 魚介類では鮎を上げていただいた方が一番多くなりました。

問2 岐阜県で作られているおいしいもの、いくつ知っていますか？知っているものをすべて選んでください。 (複数回答) 回答者 307 人

	回答数	割合
飛騨牛	276	89.9%
鮎	266	86.6%
お米(ハツシモやコシヒカリなど)	252	82.1%
柿	219	71.3%
えだまめ	159	51.8%
いちご	145	47.2%
栗	139	45.3%
トマト	131	42.7%
ほうれんそう	108	35.2%
りんご	67	21.8%
だいこん	65	21.2%
桃	58	18.9%
その他	43	14.0%
計	1,928	-



「その他」のうち主なもの

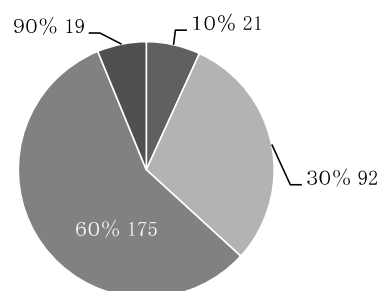
- ・ 各務原にんじん、円空さといも、宿讎かぼちゃ、なす、きゅうり、お茶、牛乳 など

～結果の概要～

- ・ 岐阜県内で産地を形成する主要品目を選択肢として用意したところ、飛騨牛、鮎、お米、柿、えだまめの順で知名度が高いという結果となりました。

問3 みなさんがいつも食べている食べ物は、岐阜県を含む日本国内で作られたもの
 だけではありません。足りない分は外国から輸入することでまかなっています。
 みなさんの食卓へ、外国産の食べ物がどれくらい入ってきていると思いますか？

	人数	割合
10%	21	6.8%
30%	92	30.0%
60%	175	57.0%
90%	19	6.2%
計	307	-



～結果の概要～

- ・日本の食料自給率は、カロリーベースで38%(R5)。およそ6割の食べ物が外国から輸入されています。
- ・アンケート結果では、実態と近い60%を選んだ人が最も多くなりましたが、実際よりも国産の割合が高いと考える人も多い結果となりました。

問4 日本国内や岐阜県内で採れた食材をもっと食べたいですか？

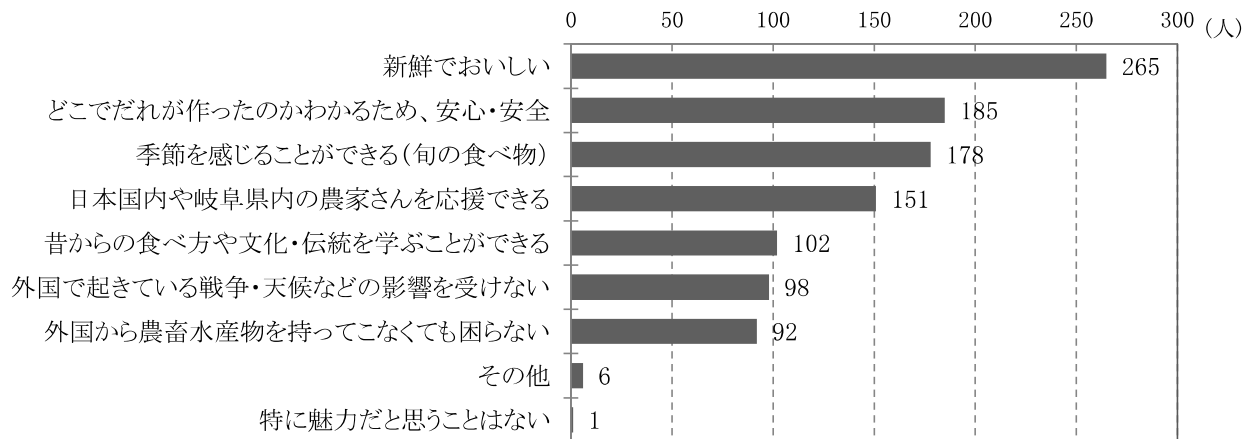
	人数	割合
食べたいと思う	243	79.2%
どちらかといえば食べたいと思う	64	20.8%
どちらかといえば食べたいとは思わない	0	0.0%
食べたいとは思わない	0	0.0%
計	307	-

～結果の概要～

- ・食べたいと思う、どちらかといえば食べたいと思うと答えた人の割合が100%となりました。

問5 日本国内や岐阜県内で採れた食材の魅力は何だと思いますか？あてはまるものを
 すべて選んでください。（複数回答） 回答者 307 人

	回答数	割合
新鮮でおいしい	265	86.3%
どこでだれが作ったのかわかるため、安心・安全	185	60.3%
季節を感じることができる(旬の食べ物)	178	58.0%
日本国内や岐阜県内の農家さんを応援できる	151	49.2%
昔からの食べ方や文化・伝統を学ぶことができる	102	33.2%
外国で起きている戦争・天候などの影響を受けない	98	31.9%
外国から農畜水産物を持ってこなくても困らない	92	30.0%
その他	6	2.0%
特に魅力だと思わない	1	0.3%
計	1,078	-



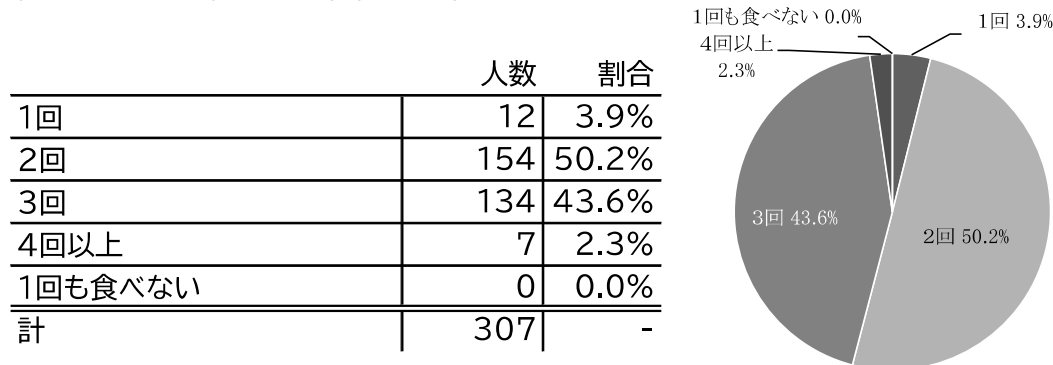
「その他」のうち主なもの

- ・ 地球温暖化を防ぐことができる
- ・ 農薬が少なく安全
- ・ 飛騨牛は畜産農家が交配を重ねて生み出した結晶でとても美味しい

～結果の概要～

- ・ 日本国内や岐阜県内で採れた食材の魅力について、新鮮さや安全・安心といった価値を感じている人が多い結果となりました。

問6 一日に何回、お米(ごはん)を食べますか？



～結果の概要～

- ・ お米は、カロリーが高い主食食材のうち、100%国内で自給できる品目です。食料自給率にとって重要なお米を、3食とも食べると答えた割合は半数以下となっています。

問7 家庭や学校の給食でお米(ごはん)を食べる回数が増えてほしいと思いますか？

	人数	割合
増えてほしいと思う	115	37.5%
どちらかというが増えてほしいと思う	127	41.4%
どちらかというが増えてほしいとは思わない	41	13.4%
増えてほしいとは思わない	24	7.8%
計	307	-

～結果の概要～

・ 家庭や学校の給食でお米を食べる回数が「増えてほしいと思う」、「どちらかというが増えてほしいと思う」と答えた割合は約8割に上りました。問6とあわせ、食料自給率の向上に寄与する「ごはん食」を増やす余地はまだまだあると考えられます。

問8 家庭や学校の授業で野菜やくだものなどを育てたことがありますか？

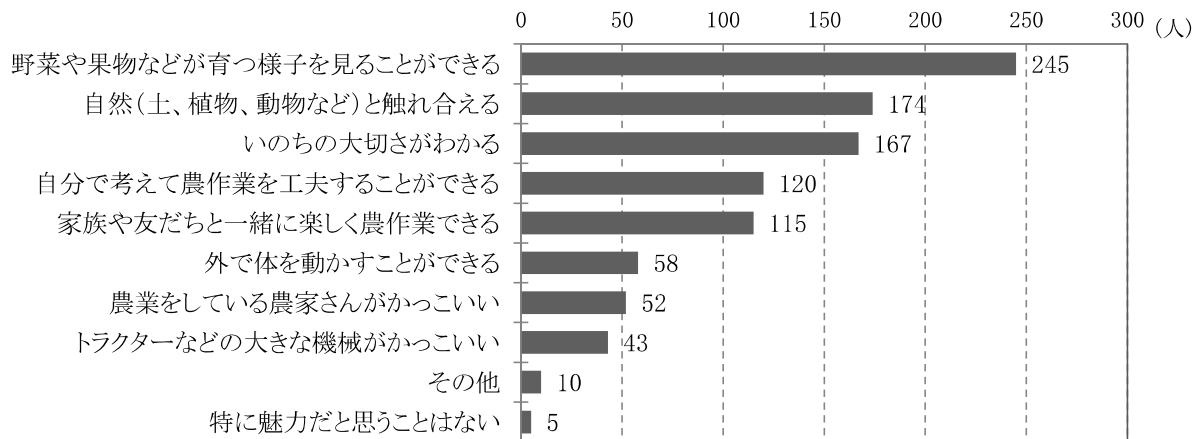
	人数	割合
ある	300	97.7%
ない	7	2.3%
計	307	-

～結果の概要～

・ 野菜やくだものなどを育てた経験は、農業を理解するためにとても大切です。アンケート結果では、ほとんどの人が野菜やくだものを育てた経験があると答えています。

問9 農業にはどのような魅力があると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答) 回答者 307 人

	回答数	割合
野菜や果物などが育つ様子を見ることができる	245	79.8%
自然(土、植物、動物など)と触れ合える	174	56.7%
いのちの大切さがわかる	167	54.4%
自分で考えて農作業を工夫することができる	120	39.1%
家族や友だちと一緒に楽しく農作業できる	115	37.5%
外で体を動かすことができる	58	18.9%
農業をしている農家さんがかっこいい	52	16.9%
トラクターなどの大きな機械がかっこいい	43	14.0%
その他	10	3.3%
特に魅力だと思わない	5	1.6%
計	989	-



「その他」のうち主なもの

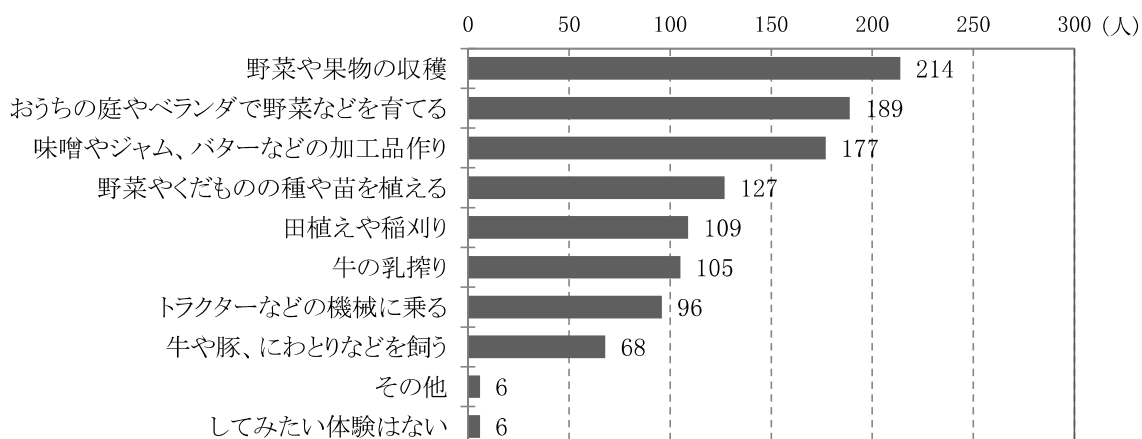
- ・ 他の人に食べてもらって、「ありがとう」と言ってもらえたり役に立てることがうれしい。
- ・ 自分で作ると苦手な野菜なども克服できる。
- ・ 自給自足ができる。
- ・ 新鮮なもの、安全なものが食べられる。
- ・ 自分で育てた達成感を味わうことができる。

～結果の概要～

- ・ 「野菜や果物などが育つ様子を見ることができる」といった意見のほか、「自然と触れ合うことができる」、「いのちの大切さがわかる」など、知識や体験として得られるものに価値を見出す意見が多くみられました。

問10 どのような農業体験をしてみたいですか？あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答) 回答者 307 人

	回答数	割合
野菜や果物の収穫	214	69.7%
おうちの庭やベランダで野菜などを育てる	189	61.6%
味噌やジャム、バターなどの加工品作り	177	57.7%
野菜やくだものの種や苗を植える	127	41.4%
田植えや稲刈り	109	35.5%
牛の乳搾り	105	34.2%
トラクターなどの機械に乗る	96	31.3%
牛や豚、にわとりなどを飼う	68	22.1%
その他	6	2.0%
してみたい体験はない	6	2.0%
計	1,097	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 花も育てたい。ガーデニングをやってみたい。

～結果の概要～

- ・ 種まきや苗植え、収穫や稲刈りといったスポット的な体験以外にも、実際に家庭菜園をやってみたいといったがっつり型の体験に興味を持つ人も多い結果となりました。

問11 将来、自分で農業をやってみたいですか？

	人数	割合
仕事として農業をやってみたい	4	1.3%
休みの日に農業をやってみたい(週末農業)	52	16.9%
家の庭やベランダなどで野菜や果物などを育てたい(家庭菜園)	204	66.4%
やってみたいと思わない	47	15.3%
計	307	-

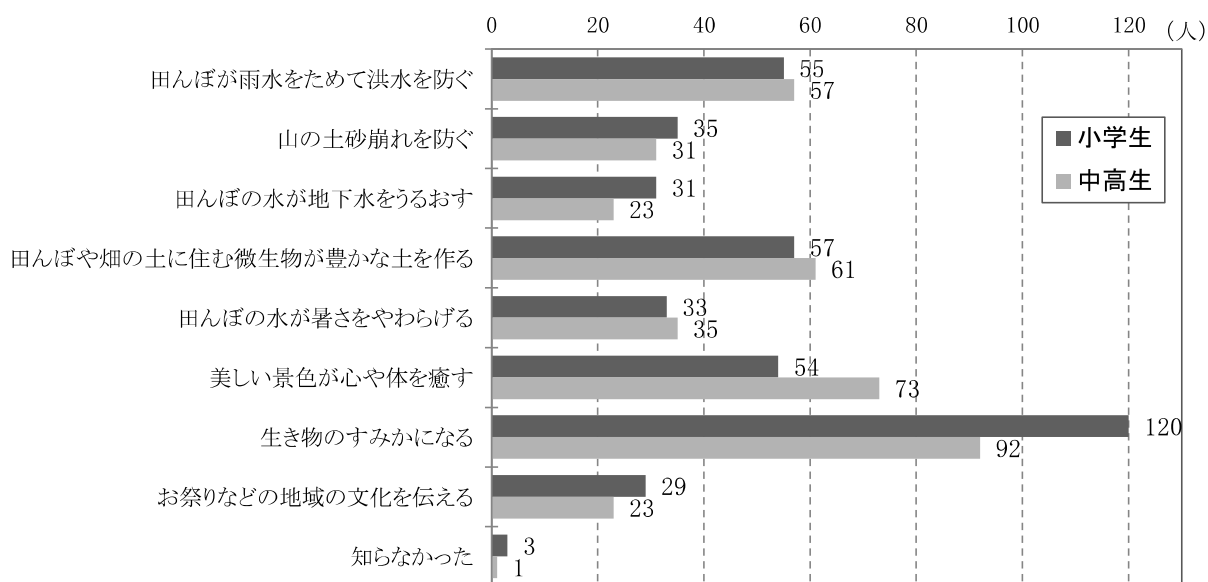
～結果の概要～

- ・ 仕事として農業をやってみたいと考えている人はとても少ない結果となりましたが、週末農業や家庭菜園など、兼業や趣味として農業をやってみたいという人はとても多い結果となりました。

問12 田んぼや畑が、食べ物を作ること以外にどんな大切な働きをしているか
知っていますか？知っているものをすべて選んでください。

(複数回答) 回答者 小学生: 155 人 中高生: 152 人

	小学生		中高生	
	回答数	(割合)	回答数	(割合)
田んぼが雨水をためて洪水を防ぐ	55	35.5%	57	37.5%
山の土砂崩れを防ぐ	35	22.6%	31	20.4%
田んぼの水が地下水をうるおす	31	20.0%	23	15.1%
田んぼや畑の土に住む微生物が豊かな土を作る	57	36.8%	61	40.1%
田んぼの水が暑さをやわらげる	33	21.3%	35	23.0%
美しい景色が心や体を癒す	54	34.8%	73	48.0%
生き物のすみかになる	120	77.4%	92	60.5%
お祭りなどの地域の文化を伝える	29	18.7%	23	15.1%
知らなかった	3	1.9%	1	0.7%
計	417	-	396	-

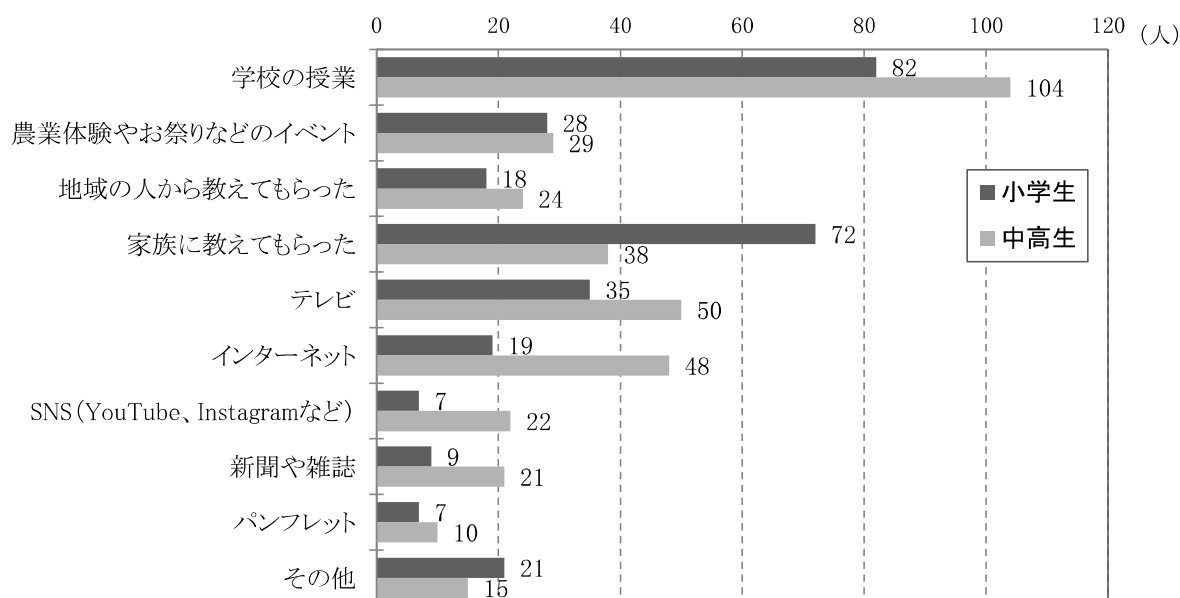


～結果の概要～

- ・「生き物のすみか」は6割以上の認知率、それ以外の項目は2～4割程度となりました。
- ・ 間接的に効果を発揮する機能を理解してもらえるような、資料や展示の工夫が必要であると考えられます。

問13 問12で答えた働きを何で知りましたか？あてはまるものをすべて選んでください。
 (複数回答) 回答者 小学生: 155 人 中高生: 152 人

	小学生 回答数 (割合)	中高生 回答数 (割合)
学校の授業	82 52.9%	104 68.4%
農業体験やお祭りなどのイベント	28 18.1%	29 19.1%
地域の人から教えてもらった	18 11.6%	24 15.8%
家族に教えてもらった	72 46.5%	38 25.0%
テレビ	35 22.6%	50 32.9%
インターネット	19 12.3%	48 31.6%
SNS(YouTube、Instagramなど)	7 4.5%	22 14.5%
新聞や雑誌	9 5.8%	21 13.8%
パンフレット	7 4.5%	10 6.6%
その他	21 13.5%	15 9.9%
計	298	361



「その他」のうち主なもの

- ・ 田んぼを見てそう感じた、考えた。
- ・ 家族が農業をしている、自分も手伝っている。
- ・ 本を見て学んだ。

～結果の概要～

- ・ 学校の授業が最も多い認知のきっかけとなっていることから、希望する小学校に出前授業等を行う「ぎふ田んぼの学校」の取組を拡大することが効果的であると考えられます。
- ・ 特に、小学生は家族に教えてもらうことも多いことから、親子で楽しく学べる体験も効果的です。
- ・ 中高生になると、インターネットやSNS経由で情報を得る機会が多くなり、これらを活用した情報発信の重要性も高まっています。

問14 世界農業遺産「清流長良川の鮎」(※)という言葉を知っていますか？

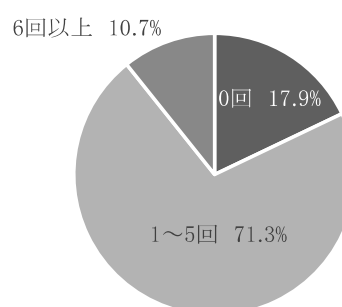
	人数	割合
ある	180	58.6%
ない	127	41.4%
計	307	-

～結果の概要～

- ・ 小学生、中学生の若い世代に対する世界農業遺産の認知度は、58.6%と半数を超え、若い世代に認知が進んでいます。
- ・ 小学生の認知度は56%、中学生の認知度は61%となりました。

問15 一年に何回くらい、鮎を食べますか？

	人数	割合
0回	55	17.9%
1～5回	219	71.3%
6回以上	33	10.7%
計	307	-



～結果の概要～

- ・ 小学生、中学生の若い世代の鮎の消費率は82%であり、さらに、年間6回以上、鮎を食べる子どもが約1割と、若い世代の鮎を食べる機会が多いことがわかりました。
- ・ 世界農業遺産「清流長良川の鮎」を知っている子どもの鮎の消費率は87%、知らない子どもの鮎の消費率は75%となりました。

森や木の体験に関するアンケート

林政課

1. アンケート調査の目的

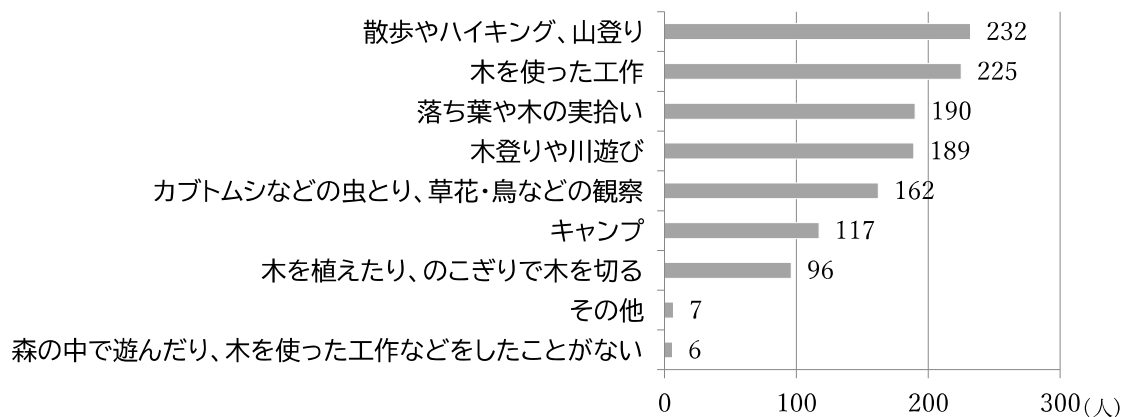
「第5期岐阜県森林づくり基本計画」策定の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 これまでに、森の中で遊んだり、木を使った工作をしたりするなどの体験や活動をしたことがありますか。当てはまるものを、すべて選んでください。

(回答数 307 人／1,224 件)

	人数	割合
散歩やハイキング、山登り	232	75.6%
木を使った工作	225	73.3%
落ち葉や木の実拾い	190	61.9%
木登りや川遊び	189	61.6%
カブトムシなどの虫とり、草花・鳥などの観察	162	52.8%
キャンプ	117	38.1%
木を植えたり、のこぎりで木を切る	96	31.3%
その他	7	2.3%
森の中で遊んだり、木を使った工作などをしたことがない	6	2.0%
合計	1,224	



【その他】山の講、木のねんど、木のおもちゃで遊ぶ、森のようちえんフリースクール、秘密基地作り、火おこし、ジップライン、滝を見に行く

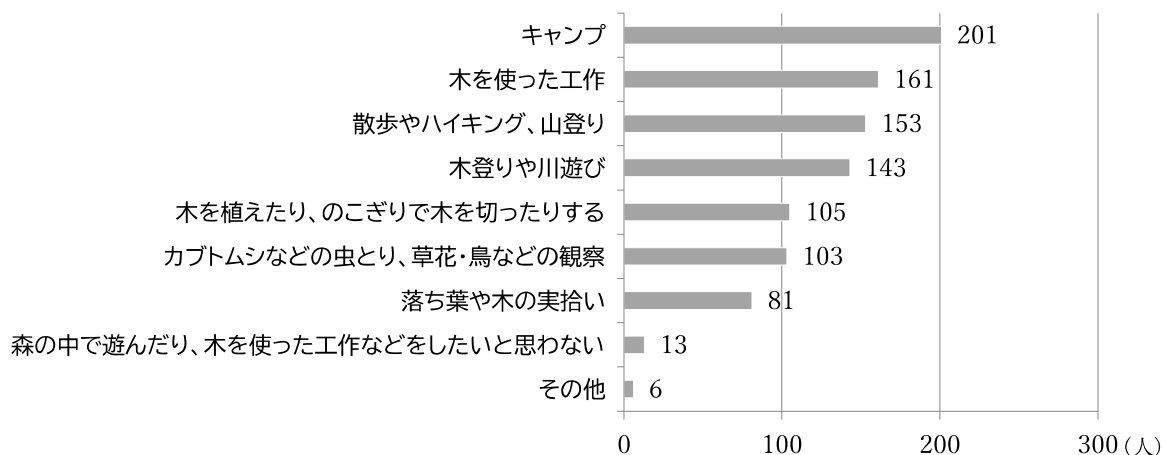
～結果の概要～

- ・ 全体の 98%が、森の中で遊んだり、木を使った工作をしたりするなどの体験や活動をしたことがあると回答した。
- ・ その内容については、「散歩やハイキング、山登り」が 75.6%と最も多く、次いで「木を使った工作」(73.3%)、「落ち葉や木の実拾い」(63.6%)の順となった。

問2 今後、森の中で遊んだり、木を使った工作をしたりするなどの体験や活動をしてみたいですか。
当てはまるものを、すべて選んでください。

(回答数 307 人／966 件)

	人数	割合
キャンプ	201	65.5%
木を使った工作	161	52.4%
散歩やハイキング、山登り	153	49.8%
木登りや川遊び	143	46.6%
木を植えたり、のこぎりで木を切ったりする	105	34.2%
カブトムシなどの虫とり、草花・鳥などの観察	103	33.6%
落ち葉や木の実拾い	81	26.4%
森の中で遊んだり、木を使った工作などをしてしたいと思わない	13	4.2%
その他	6	2.0%
合計	966	



【その他】木の遊具、アスレチックで遊びたい、授業で図工、大型アスレチック遊具で遊びたい、植林、ジップライン、滝を見に行きたい、動物を探したい

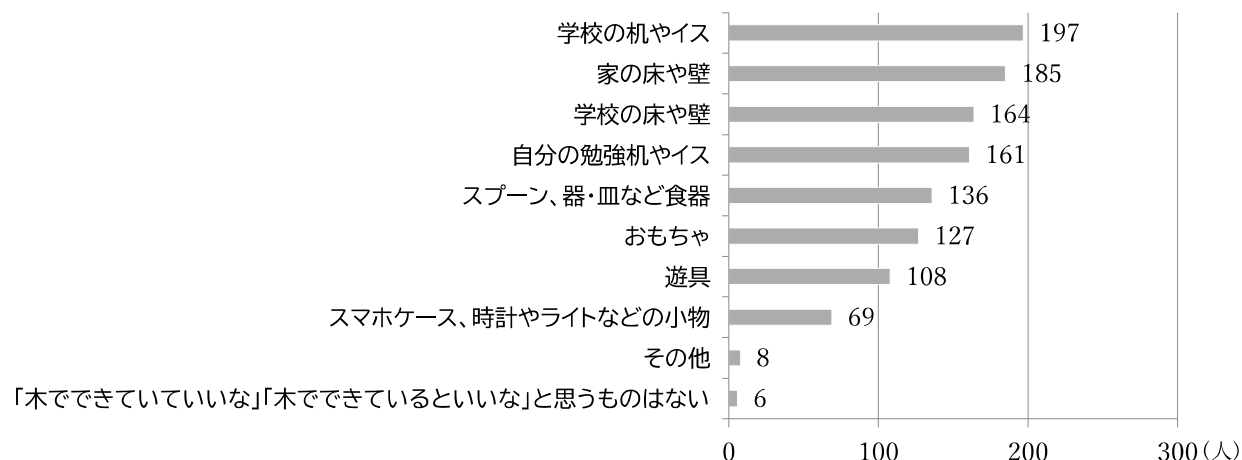
～結果の概要～

- ・ 全体の 95.8%が、今後、森の中で遊んだり、木を使った工作をしたりするなどの体験や活動をしてみたいと回答した。
- ・ その内容については、問1(これまでの経験)で6位と低位であった「キャンプ」が65.5%と最も高く、次いで問1(これまでの経験)で上位であった「木を使った工作」(52.4%)、「散歩やハイキング、山登り」(49.8%)の順となった。

問3 あなたの身のまわりの物で「木でできていていいな」「木でできているといいな」と思うものがありますか？当てはまるものを、すべて選んでください。

(回答数 307 人／1,161 件)

	人数	割合
学校の机やイス	197	64.2%
家の床や壁	185	60.3%
学校の床や壁	164	53.4%
自分の勉強机やイス	161	52.4%
スプーン、器・皿など食器	136	44.3%
おもちゃ(最近遊んでいない場合は、昔遊んだものを思い出してみてください)	127	41.4%
遊具(最近遊んでいない場合は、昔遊んだものを思い出してみてください)	108	35.2%
スマホケース、時計やライトなどの小物	69	22.5%
その他	8	2.6%
「木でできていていいな」「木でできているといいな」と思うものはない	6	2.0%
合計	1,161	



【その他】棚 ゴミ箱、棚、柵、扇風機、山登りの杖、車、時計、エアコン、おたま、ノート、家、シャープペン、ティッシュケース、ペン立て、家全体、アクセサリ

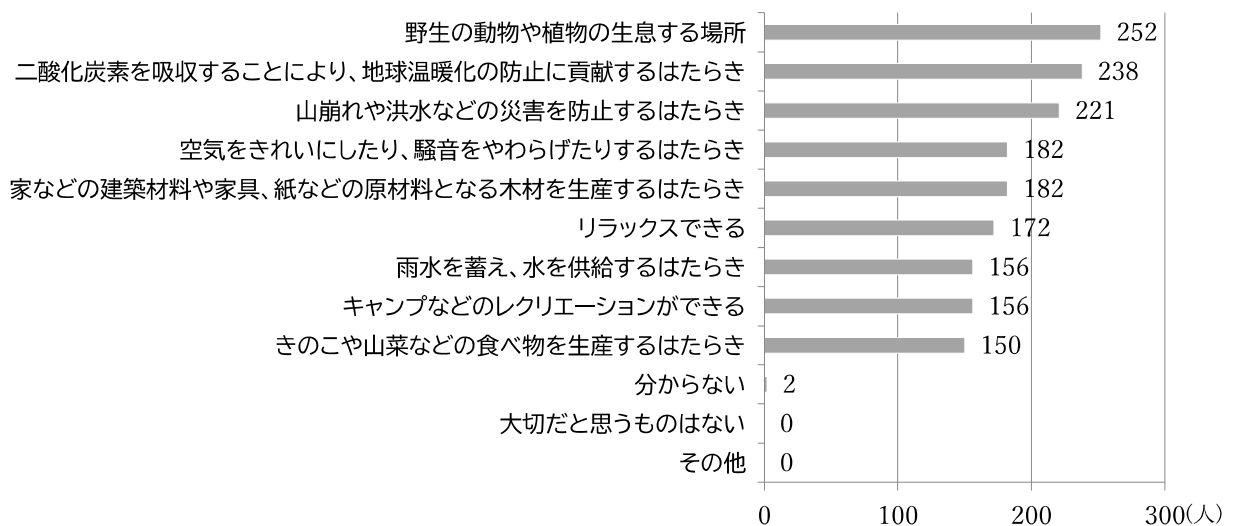
～結果の概要～

- ・ 全体の 98%が、「木でできていていいな」「木でできているといいな」と思うものがあると回答した。
- ・ その内容については、「学校の机やイス」が 64.2%と最も高く、次いで「家の床や壁」(60.3%)、「学校の床や壁」(53.4%)と、身近な生活空間に関するものが高くなった。

問4 森には、いろいろな大切なはたらきや役割があります。次の中で、あなたが「これが大切な」と思うものを、すべて選んでください。

(回答数 307 人／1,711 件)

	人数	割合
野生の動物や植物の生息する場所	252	82.1%
二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化の防止に貢献するはたらき	238	77.5%
山崩れや洪水などの災害を防止するはたらき	221	72.0%
家などの建築材料や家具、紙などの原材料となる木材を生産するはたらき	182	59.3%
空気をきれいにしたり、騒音をやわらげたりするはたらき	182	59.3%
リラックスできる	172	56.0%
雨水を蓄え、水を供給するはたらき	156	50.8%
キャンプなどのレクリエーションができる	156	50.8%
きのこや山菜などの食べ物を生産するはたらき	150	48.9%
分からない	2	0.7%
その他	0	0.0%
大切だと思うものはない	0	0.0%
合計	1,711	



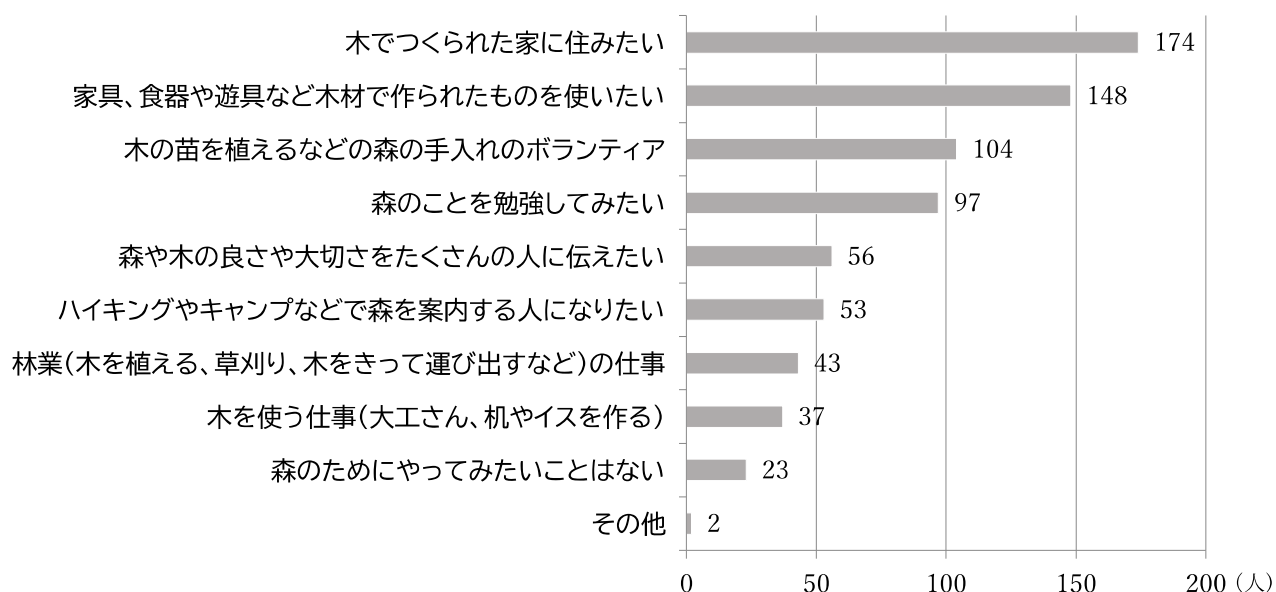
～結果の概要～

- ・ 「野生の動物や植物の生息する場所」が 82.1%と最も高く、次いで「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化の防止に貢献するはたらき」(77.5%)、「山崩れや洪水などの災害を防止するはたらき」(72.0%)と、森林の公益的機能に関するものが高くなった。

問5 将来、森林のためにやってみたいことはありますか？当てはまるものを、すべて選んでください。

(回答数 307 人／737 件)

	人数	割合
木でつくられた家に住みたい	174	56.7%
家具、食器や遊具など木材で作られたものを使いたい	148	48.2%
木の苗を植えるなどの森の手入れのボランティア	104	33.9%
森のことを勉強してみたい	97	31.6%
森や木の良さや大切さをたくさんの人に伝えたい	56	18.2%
ハイキングやキャンプなどで森を案内する人になりたい	53	17.3%
林業(木を植える、草刈り、木をきって運び出すなど)の仕事	43	14.0%
木を使う仕事(大工さん、机やイスを作る)	37	12.1%
森のためにやってみたいことはない	23	7.5%
その他	2	0.7%
合計	737	



【その他】伐採をやめたい、害を与えない

～結果の概要～

- ・ 全体の 92.5%が、森のためにやってみたいことがあると回答した。
- ・ その内容については、「木でつくられた家に住みたい」が 56.7%と最も高く、次いで「家具、食器や遊具など木材で作られたものを使いたい」(48.2%)、「木の苗を植えるなどの森の手入れのボランティア」(33.9%)と、生活の中で木材を使うことに関するものが高くなった。